

厚真町観光協会では、被災地ガイドツアーの他にも、災害時の避難所運営をシミュレーションできる“避難所運営体験”を実施しております。実際の出来事を元にしたカードなどを使い避難所の運営を擬態体験します。

避難所運営体験の目的・意義

- 避難所で起こる出来事を疑似体験し、将来の災害の備えに生かす
グループで協力し、避難者一人一人に寄り添った解決方法を導き出す。
- 普段の備え・話し合いによって
解決できそうなことを見つけ、家庭や学校、地域の防災対策に生かす。
- 「わたし」「わたしたち」が自分事として取り組む、という考え方が大切です。

避難所運営体験の内容

地震が起こり、人々が避難所に集まった仮定をして、避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか。

また、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験していただきます。



実際の避難所（厚真町）



避難所運営体験の様子

●所要時間 通常コース90分（お時間については60分から実施可能です。）

①



リーダーやタイムキーパーなど最初にカードの読み手、役割分担を決める。またその施設内のスペースや受付などを決める。

②



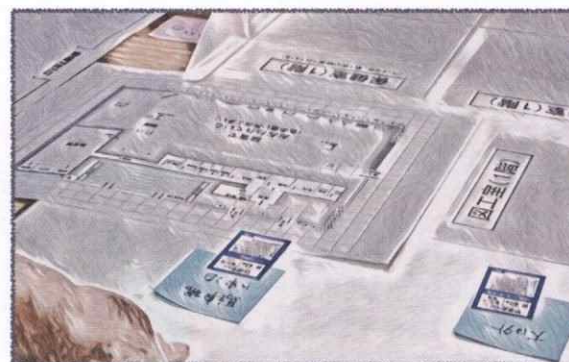
避難者カードやイベントカードなど避難所として対応しなければならない出来事のカードを1分に一枚のペースで読み上げていく。

③



避難してきた人(避難者カード)に対して家族構成や住んでいる地域、被災状況などに応じて、避難所内の割り振りやその避難者に対応する。

④



避難してくる人や対応しなければならない出来事（イベントカード）に対応しながら避難所をうまく運営していく。

⑤



実際の震災時のことを頭の中でイメージしたり、シミュレーションしながらチームで話し合って避難所を運営する。

段ボールベットの組み立て



☆ 段ボールベッド組立体験 (オプション)

- ・厚真町の避難所でも実際に使用されて段ボールを組み立てる体験です。
- ・一つのベッドにつき最大10名まで

注) 段ボールベッド組立体験は、厚真町内での実施のみとさせていただきます。
注) 体験人数が多い場合、会場の広さなど都合により実施できない場合があります。
注) 本体験、単体でのお申込みはできません。避難所運営体験とセットでお申込み願います。

もしも震災が起きたら・・・

●持ち物

- ☆ **非常用持ち出し品**：非常食・水、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具・レインコート、タオル、毛布、マスク、ウェットティッシュ、現金など
- ☆ **非常用備蓄品**：カセットコンロ、紙皿、割り箸、トイレットペーパー、乾電池など

●行動

- ☆ 避難所の場所やハザードマップを知っておく
- ☆ 家族や避難先になりうる知人、大切な人との連絡方法を決めておく

●その他、シミュレーション

- ☆ 避難目安となるの警戒レベルを把握しておく
- ☆ テレビ、ラジオ、インターネットなど、情報収集の方法をイメージしておく

●自分の命を守るためにできること

- ☆ 自分の命を守ることを最優先に考えて速やかに行動する
- ☆ 地震、土砂崩れ、津波、洪水など、災害状況に応じてできるだけ冷静に判断する

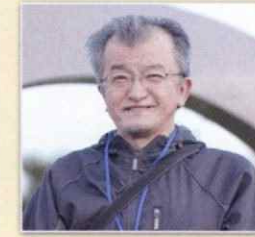
被災地ガイドスタッフ紹介



しもつかさ
下司さん

プロフィール
会社役員・飲食店経営・町議会議員・厚真町民吹奏楽団。
厚真の良いところは、四季の変化がはっきりしているところ。

災害時に全国から支援して頂いたことに対して、被災地の現状に関し情報発信する事が重要であると考えます。



やまじ
山路さん

プロフィール
私塾(山路塾)主宰 NPO法人(あつま森林むすびの会 代表)など。
厚真の良いところは、田舎なので、人と自然を実感できる。

豊丘自治会長として被災時に活動して思ったことを伝えたい。



たなか
田中さん

プロフィール
デザイナー、プランナー。厚真の良いところは、色々な面白い人がいる、食べ物が美味しい、自然が豊富。クリエイティブなことや、ものづくりをするにあたって素材やスペースがたくさんあって様々なことにトライしやすい。

色々な人に助けてもらったのでその恩返しや恩送りのバトンを繋ぐことが大切。厚真の経験を伝えて知ってもらうことで防災や減災に繋げてほしい。



のち
野地さん

プロフィール
家庭菜園、販売、ボランティアをやってます。厚真町の良いところは、和香か(なごやか)で自由なところ。のんびり静かなところ。

地震の前に農業体験でファームステイする中高生を受け入れてました。主に学生達に被害地や防災について伝えたいです。



ながやま
永山さん

プロフィール
家のそばで伐り倒せない場所などの木に登って伐る樹上伐採と、子どもたちに自然の中での遊び方や主に木を使った工作を教えています。厚真の良いところは、人があたたかく、自然がゆたかなところ。「何もない」があるところ。

新潟県中越地震、実家福島県で東日本大震災と原発事故、そして厚真で胆振東部地震を体験して、その経験や感じたことを自分自身が忘れないためにも多くの人たちに伝えたい。



うすざわ
白澤さん

プロフィール
厚真町民が健康になって貰いたく、スポーツ吹矢を広めております。厚真の良いところは、自然が豊かで四季それぞれが美しい。震災前後から若い人達が移住してきており、未来を感じることが出来る。

震災の詳細や厚真の歴史を学び、伝えたいと思い、参加させていただいています。

吉野地区

富里地区

写真提供：田中 克幸

厚真神社上空から望む、吉野・富里地区をドローンで撮影

2020年9月6日

あの地震から時間が経つにつれて、目に見える災害の影響は少なくなりつつあります。しかし、目に見えない「暮らし」を立て直し、心が回復するまでには長い時間を必要とします。また、被災した森林の再生は、何代にもわたる取り組みになるでしょう。私たち被災地ガイドは、これからも、いただいたご支援への感謝を込めて、“災害への備え”“思いやり”“絆の大切さ”などの学んだことを伝えていきます。

一般社団法人
厚真町観光協会

Tel : 0145-29-7711
住所 : 〒059-1605 北海道勇払郡厚真町本郷305-2
<https://atsuma-kankoukyoukai.jp>



厚真町観光協会HP



被災地ガイドHP